

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」名古屋校			
○保護者評価実施期間	2025年11月3日 ～ 2025年11月29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数)	37
○従業者評価実施期間	2025年11月3日 ～ 2025年11月29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	季節の小集団イベントを行っています。	ハロウィン、クリスマスなど季節に合ったイベントを毎年開催しています。特に今年度は小集団での活動も増やし普段見る事のできないお子様の集団での様子も見ることができました。また集団での様子を踏まえて個別の活動に役立てることもしています。	これまで開催したイベントはいずれも教室内で出来るものだけでした。その為今後は事業所内だけでなく、近くの公園を訪れ季節を感じるなどのお出掛けイベントの開催を視野に入りたいです。これらに合わせて、ママカフェの開催も検討していきたいです。
2	その状況に応じた支援を提供しています。	担当の指導員だけでなく様々な職員が関わる中で面接練習などを行うことで、日常生活で必要な内容を練習することができています。また、複数名の指導員が関わる事でそれぞれが持つ視点からアドバイスをしたり一緒に考えることができます。	名古屋校では2025年11月より新しく理学療法士の資格を持った職員が入職しました。その為、児童指導員・保育士・教員・理学療法士を持った職員がいます。各職員同士で知恵を出し合う事で様々な角度から新しいプログラムを組み立てることができます。
3	SNSの運用等新たなことを行っています。	LINEやブログ、インスタの投稿などSNSを通した新たな取り組みを行っています。特にインスタグラムではストーリーを毎日更新したり、ストーリーにてお子様に向けたクイズを展開するなどしています。	SNSなどを通して、新たな取り組みを行いたいと考えています。例えば、イベントの参加希望をインスタやブログで集計する、インスタでキーワードを発表しその言葉を報告して楽しむなど

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在全ての利用者さんに展開できるイベントが行えていません。	現在年長以上のイベントは開催できていますが、年長未満を対象としたイベントを開催することができていません。なので年長未満の児発のお子さんでも参加できるようなイベントの開催を計画していけるようにしたいです。	未満児のお子さんでも小集団で活動しやすいように保護者の方々にも参加をお願いするなどして開催を検討していきたいです。その際に併せてママカフェの様な保護者の方にプラスになるイベントを開催できるようしていきたいです。
2	保護者同士の交流が少ないです。	要因としては本校ではお勤めになっている保護者の方も多く時間の都合が合わない事が考えられます。その為、保護者同士の交流の機会を設けることが難しいという現状です。	保護者様がどのようなニーズを抱えているのか把握するためにはまずはアンケートをとる事が必要です。その中で要望のあったことやその他ママカフェの実施や就学に向けた年長さんの保護者の方が集まる会などを検討していきたいです。
3	新しい事（SNSなど）をやってみたが周知率が低いです。	職員間でSNS運用の方法についての理解度が低いです。その為、SNSのアピールや説明が詳細にできない事が原因としてあります。なのでまず事業所内での周知度を高めていくことを目標にします。	職員全員が理解しなければいけません。また、保護者の方々に向けたSNSのアピールについても強化していく必要があります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」名古屋校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 38

回収数 37

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	4	0	0	・そう思います。・2人以上部屋を使用するときは狭いと感じます。カーテンでの区切りなので他の利用者の声などで気が散る事があります。	ありがとうございます。 場合によっては面談室を利用するなど状況に応じて対応させていただきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	4	0	3	・そう思います。	ありがとうございます。 今後も継続してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	3	0	2	・空間をしきっていただいてわかりやすい場所になっていると思います。	今後も安全管理等に努めながら運営してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	2	0	0	・そう思います。 ・夏場に部屋が暑いことがあったので涼しめに設定されていると良いと思いました。	申し訳ございませんでした。クーラーの温度につきましては、その都度利用者様に確認するなどして適切な温度になる様努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	1	0	0	・子供の好きな遊び、キャラクター等を取り入れて頂いて支援して頂いています。	ありがとうございます。今後もお子さんに楽しんで頂けるようなプログラムを提供してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	2	0	2	・そう思います。	今後も継続してまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35	1	0	1	・そう思います。	今後も継続してまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	1	0	2	・そう思います。	今後も継続してまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	1	0	0	・そう思います。	今後も継続してまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34	2	0	1	・毎回異なるプログラムを組んでいただき楽しく通わせて頂いています。	ありがとうございます。今後も利用者様に楽しんで頂けるようなプログラムを提供してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	6	12	10 (※無回答1)	・すみません。わかりません。	周知不足で申し訳ございません。 現在は行っていない為、ご希望があれば検討させていただきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	0	0	0	・はい。	今後も継続してまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	1	0	1	・はい。	今後も継続してまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	4	4	6 (※無回答1)	・すみません。わかりません。	ご要望に応じて検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	37	0	0	0	・そう思います。	今後も継続してまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	3	0	0	・定期的に面談をしていただいています。3人分いつもありがとうございます。	ありがとうございます。今後も保護者様と密な情報共有を心掛けていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	0	1	0	・いつも子供にも親にもお気遣いいただいています。	ありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	7	10	8 (※無回答1)	・すみません。わかりません。	ご要望に応じて検討していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	3	0	3 (※無回答1)	・お電話等で相談させていただいています。	その時々状況に応じた方法をご相談させて頂き、一番良い方法でお話しさせて頂いております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	2	0	0	・そう思います。	ありがとうございます。今後も密な情報共有を継続してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29	6	0	2	・LINEで発信して頂いています。	LINE、ブログ、Instagramなどを運用させて頂いております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	2	0	1	・そう思います。	今後も個人情報の取り扱いには十分留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	34	0	0	3	・そう思います。	訓練を実施し廊下にて掲示させて頂いております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33	1	0	3	・そう思います。	毎月避難訓練を行っています。場合によっては利用者様にご参加頂いております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	4	0	1	・そう思います。	今後もお客様の安全を第一に取り組んでまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。	26	6	0	5	・必ずお手伝い頂いています。	ありがとうございます。今後も継続してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37	0	0	0	・いつも楽しく通わせ頂いています。	ありがとうございます。今後も楽しく来所して頂けるように努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	34	2	0	1	・いつも楽しく通わせ頂いています。 ・とても楽しく通っています。	ありがとうございます。今後も楽しく来所して頂けるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	3	0	0	・とても満足しています。 ・支援の時間が短いと感じるのもう少し長い時間だと嬉しいです。	ありがとうございます。基本1時間の個別療育を提供させて頂いております。時間につきましては状況を踏まえながら検討させて頂きます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」名古屋校				公表日		2026 年 2 月 14 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しています。	カーテンやパーテーションでスペースを区切って使用することもあるが、隣の声が気になってしまうこともあります。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数を確保しています。	特に問題はありません。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	○	カーテンやパーテーション等でスペースを仕切り、集中できるようにしています。	玄関に段差があることや、風が強い時に勢いよくドアが開いてしまうことがあります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝決められた時間に清掃・消毒をしたり、設備等の不具合もチェックしたりして、清潔で心地よく過ごせる環境を心掛けています。	個室ではなくパーテーションで区切ることもある為、時折隣の声が気になってしまうこともあります。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個別の部屋を使用できるよう部屋を確保しています。	個室ではなくパーテーションで区切ることもある為、時折隣の声が気になってしまうこともあります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日ミーティングを実施し、職員全員で業務改善に取り組んでいます。	特に問題はありません。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様へ事業所評価アンケートを実施し、業務改善につなげています。	適宜問題が発生した場合は迅速に話し合い、対応していきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		始業時のミーティング時だけではなく適宜職員の意見等を把握する機会を設けて業務改善につなげています。	公休の職員への伝達漏れが時折あるので今後は社内メールなどを活用していきたいです。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○	現在は利用者・社内の二者評価を取っております。	第三者による外部評価は現在実施する予定はありませんが、必要に応じて実施を検討いたします。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		初任者研修を始め、経験年数に応じた社内研修や月に一度社内でのテーマ研修等を実施しております。	特に問題はありません。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		事業所HP内ブログ記事にて公表している他、事業所内で掲示しています。	社内事業所で公表方法を統一していきます。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		計画期間ごとにアセスメントをとった上で個別支援計画を作成しています。	特に問題はありません。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画期間ごとに行われるモニタリングの結果を保育士・指導員にも共有し、支援に関わる職員の意見を個別支援計画に反映しています。	利用者様によっては、指導員と個別支援計画作成者が普段から情報を共有できていない場合があるので、今後改善します。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	○	個別支援計画書は、全職員が閲覧できるようにしており、その計画に沿って支援計画を立てております。	担当以外の利用者様の様子を見るのが少ない為全てのお子さんの状況を把握しにくいことがあります。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内のアセスメントシートを活用しながら、職員内で共通理解ができるよう、情報共有をしています。	日々更新される情報についてしっかりと把握・共有できるようにしていきたいです。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		定期的に面談を行い、利用者様の状態と一緒に確認し、支援計画に基づき説明しています。	「地域支援・地域連携」に関しては具体的な活動が行っていません。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	○	お子様の事例を共有し、議論するケース検討会を開催し、活動プログラムの立案を行っております。	個別支援が主となる為、個人で活動プログラムを立案することもあります。必要時には職員内で相談する機会も設けています。		

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		常にお子様一人ひとりの特性や興味に合わせて効果的に楽しく学べるプログラムになるよう工夫しています。	特に問題はありません。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	○	必要に応じて小集団支援を行うこともあります。	個別活動が主なため必要時に小集団を実施しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	○	毎朝ミーティングを実施し、職員間での情報共有を行っています。	ただし個別支援内容については各指導員で決めているので内容の確認は行っておりません。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	翌日にミーティングを随時実施し、職員間での情報共有を行っています。	必要時には社内のチャットツールを利用し、情報共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回支援記録をとり、見直すことでお客様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。	特に問題はありません。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		適切な時期にモニタリング、会議を行い、計画の見直しの必要性を判断しています。	特に問題はありません。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		「4つの基本活動」を毎回の支援で織り交ぜながら支援を行っています。	個別で1時間が主のため、地域交流については行えていません。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		必要時にはいくつか選択肢を用意し、利用者様本人の意思で決定できるようにしています。	特に問題はありません。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		利用者様の状況をよく理解している担当指導員が会議に参加しています。	特に問題はありません。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	○	必要時には関係機関との連携がとれる体制を整えています。	特に問題はありません。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	○	必要に応じて、学校の先生やスクールカウンセラーのご要望にお応えする形で支援方法に関するご提案を行っています。	学校側と直接情報共有をすることは現状ありません。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	○	相談支援事業所を通して情報を共有しています。	保護者の方からのご要望などがない場合は基本的に行っていません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	○	必要に応じて、連絡票などを用いて情報提供できる体制を整えています。	就労移行支援事業所等のご紹介などは行っています。必要時には支援内容の共有等も行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	○	専門機関と連携をして担当者会議等で助言を受けています。	社内で行われている外部機関（発達支援研究所）が実施する研修は参加していますが、地域のセンター等とは連携を現状とじていません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	限られた支援時間の中での交流は難しいことから地域交流は現在実施しておりません。	現状、地域のお子様と関わる事や交流の機会を設けることはあまりできていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	○	児発管が主に参加しています。	協議会等への参加はあまり行っていない状態です。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	○	毎回の支援内容についてフィードバックでお話を行い今後の課題や現在の状態について情報共有ができています。	特に問題はありません。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご家庭のお話を伺う中で、お子様との関わり方についてのアドバイス等は随時行っています。	研修の機会は現状取り組むことができていません。適時必要な時には開催を検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時に管理者から重要事項についてしっかり説明が行われています。	特に問題はありません。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングやフィードバック、支援中の利用児童との関わりの中でそれぞれの方の意向についてお話を伺っています。	特に問題はありません。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画の内容や支援内容についてはモニタリングの機会です改めて説明・確認を行い、保護者様の同意を得ています。	特に問題はありません。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		普段のフィードバックでお話を伺い、必要な場合は別日に相談支援の時間を設けて面談等を行っている。	特に問題はありません。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	業務の都合上現在は保護者会等は開催しておりませんが、ご要望に応じて検討しています。	以前はママカフェ等で保護者様同士が関わる機会をご提供できていましたが、現在はそういった企画を実施できていません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった際は事業所全体で共有し、再発防止策や対応方法について話し合いをして対応しています。	特に問題はありません。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		校舎のブログやインスタグラム、掲示物等を用いて校舎の情報発信を行っています。	発信はしていますが周知が行き届いていない時があります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	○	個人情報を含む重要書類は施錠可能な場所に保管し取り扱いについては十分に留意しています。	特に問題はありません。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		全ての方が理解しやすくこちらの意図や思いが正しく伝わるよう文面や伝達方法には配慮しています。	特に問題はありません。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	個人情報等に配慮しつつ、指導の様子を公開しています。	事業所行事に地域の方々を招待することは現状行っていません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルについては社内研修で内容を確認し研修等にも参加できています。	各訓練を実施することはできていますが、周知できていない時があります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		計画の策定は校舎内で行い、災害発生時を想定した訓練についても月に1回実施できています。	特に問題はありません。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		お子様の持病や服薬については随時親御様にお話を伺う事や基本情報シートの更新の際に確認しています。	特に問題はありません。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		対象のお子様については、指導時に該当物質との接触が起こらないように留意していきます。	食物アレルギーの有無については確認をしています。その点について医師の方から指示書等はいただいています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		計画の策定は校舎内で行い、安全管理の点については普段の運営の中で各自気づいた点を報告して改善しています。	特に問題はありません。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		随時保護者様への了承を頂いた上で、お子様と一緒に防災訓練を実施しています。また避難経路等を校舎内に掲示しています。	安全計画については校舎内での周知を徹底しています。ただ、保護者様への周知はできていないことがあります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生した際は報告書を作成し事業所内で情報共有をして再発防止に努めています。	特に問題はありません。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		社内の研修で虐待防止に関する知識を学び虐待防止マニュアルの周知等を事業所で行っています。	特に問題はありません。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束を行う場合については保護者様に説明を行い計画の内容をご確認いただいた上で了解を得ています。	特に問題はありません。